

	インフルエンザ	新型コロナウイルス
感染力	強い	非常に強い
潜伏期間	1~4日	1~14日(平均約5日)
発熱	38度以上の急激な高熱	37.5度以上の発熱が数日続く
発熱以外の症状	関節痛・筋肉痛・頭痛 全身のだるさなど	倦怠感・咳・のどの痛み 味覚や嗅覚の異常など

## 新型コロナウイルスとの違い

**インフルエンザとは**  
インフルエンザとは、インフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気のことです。風邪に比べて、38度以上の高熱が出るものが多く、関節痛や筋肉痛などの症状が急速に現れるのが特徴です。季節性のインフルエンザは、いったん流行すると、短期間に多くの人に感染が広がります。基本的には11月頃から流行り始め、ピークは12月~3月とされています。

[特集]インフルエンザ

早めのワクチン接種で  
しっかり予防!

# インフルエンザ

流行が続く新型コロナウイルス感染症ですが、秋から冬にかけて、インフルエンザへの注意も必要です。当院でもインフルエンザワクチン接種を予定しています。早めのワクチン接種でしっかりと予防しましょう。

## インフルエンザが重症化しやすい人

- 高齢者
- 乳幼児
- 妊婦
- 基礎疾患がある方



重症化リスクが高い人は特に早めにワクチン接種を行いましょう!

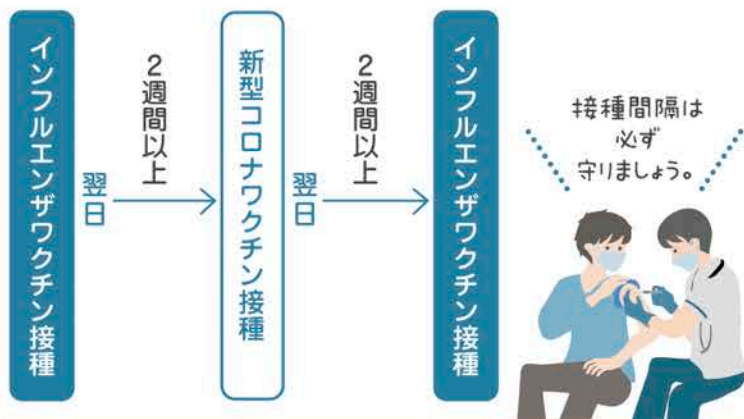
## ワクチン接種の目的

インフルエンザワクチンの接種の目的は、**重症化を防ぐこと**にあります。ワクチン接種により罹病期間が短くなり、入院なども少なくなります。入院が必要な方を減らすことで、必要な医療が確保できます。

## 新型コロナワクチンとインフルエンザワクチンの接種

新型コロナワクチンとインフルエンザワクチンの接種は、**2週間以上間隔をあける**必要があります。

新型コロナワクチン接種後にインフルエンザワクチンを接種する場合は、2回目の接種の翌日から2週間以上の接種間隔をあけてください。インフルエンザワクチンを先に接種する場合も同様に、接種の翌日から新型コロナワクチン接種まで2週間以上の接種間隔をあけてください。



重症化を防ぐための  
ワクチン接種です。



## インフルエンザワクチン集団接種のご案内

当院ではインフルエンザワクチン集団接種を予定しています。どなたでも接種可能です。

- 1 11月7日(日)
- 2 11月21日(日)
- 3 12月5日(日)
- 4 12月19日(日)

各日9:00~10:30まで受付

ご予約は落合病院  
☎0867-52-1133  
まで

※当院では新型コロナワクチン接種の予約は直接受け付けておりません。新型コロナワクチン接種の予約については、真庭市コールセンターまでお問い合わせください。